

大西泰斗／ポール・マクベイ著「総合英語 FACTBOOK これからの英文法」桐原書店 2017年6月1日刊を読む

理解したら続けて音読・暗唱

1. (1)文法を学ぶのは何のためでしょうか
(2)それは英語を実践で使いこなすためです
(3)各解説を「理解」するのはゴールではなく、スタートにすぎません
2. (1)各解説に盛り込まれた単語、文法項目を「教えることなく」「反映的に」使えるようにならないければ習得したことにはなりません。
(2)そのための唯一の方法は「音読・暗唱」です。
(3)各項目でポイントとなる例文を複数、自然に作ることができるようになるまで「音読」を繰り返してください。
3. (1)会話では文法を参照し、頭で考えている時間などありません。
(2)英語を実践で使う力を得るためには、音読を通じて学んだ文法事項を体に根づかせることが何より大切なのです。
(3)音読を数か月繰り返せば、英語は驚くほど伸びていきます。

P5

<コメント>

中学高学年生から高校3年生向けの「英文法」9大ベストセラー、NHKラジオの大人気番組「英語会話」講師をつとめる大西先生の「FACT BOOK」の「みるみる英語が使えるようになるヒント」の第1は、「理解したら続けて音読・暗唱」です。開倫塾の「学習の3段階理論」、「理解」「定着」「応用」は、英文法の学び方、英語の学び方でもお役に立つと「確信」を深めました。大西先生の本書は従来の英文法のテキストより10倍以上親切・丁寧でわかりやすいと思います。ですから、本書を5～10回学び直し、スミからスミまで自分のものにいたしましょう。「理解したら続けて音読・暗唱」を実行しながら、5～10回最後まで読み切りましょう。

本書こそノートを作って、日本語訳を見た瞬間に英語が口をついて出るまでにする。出てくる英文を全部暗唱することが、英語を身に着ける一番の近道と確信します。

2021年7月16日(金)林明夫